

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和4年	会計コード	10	一般	事業コード	37284	
事業名	社会的養護体制整備費						
評価担当課	所属名	子)児童相談所 地域連携課					
	課長名	山形	担当者名	竹山・海野	電話番号	011-622-8620	
施策名	主	支援や配慮が必要となる子どもや家庭が、困難な状況に応じた適切					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他					
	目的	取組内容と同じ。					
		長期	児童養護施設の小規模かつ地域分散化、多機能化や家庭と同様の養育環境の推進を図る。				
	取組内容	【概要】児童家庭支援センター、地域小規模児童養護施設、ファミリーホームの新設や一時保護専用施設の設置を支援し、児童養護施設の小規模かつ地域分散化、多機能化や家庭と同様の養育環境の推進を図る。【R4年度具体的取組】(1)児童養護施設等新設・改築のための工事費を助成。①興正学園地域小規模児童養護施設改築(2箇所)②札幌南藻園本体・児童家庭支援センター③柏葉荘地域小規模児童養護施設新築(2)前述①～③に係る備品購入費を助成。					
	実施結果	概ね計画通り工事費を助成 ①札幌南藻園 児童家庭支援センター新築及び本体施設小規模化による改築※3か年工事 ②興正学園 地域小規模児童養護施設改築2カ所 ③柏葉荘 地域小規模児童養護施設新築					
事業実施における工夫点	なし						
対象者	児童養護施設等入所中児童			開始	令和3 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	次世代育成支援対策施設整備交付金交付要綱、児童虐待・DV対策等総合支援事業費国庫補助金交付要綱、児童養護施設等の生活向上のための環境改善事業実施要綱						
他都市の状況							

◎事業費

(単位:千円)

		令和3年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費		88,390	30,827	268,101	331,000
うち特定財源		65,935	183,173	186,897	289,331
人工		0.0	0.4	0.3	0.5
人件費		0	2,880	1,800	3,550
計(事業費+人件費)		88,390	33,707	269,901	334,550
事業費 の内訳	令和4年度決算	①施設整備分 247,362千円 ②備品購入分 20,739千円			
	令和5年度予算	①施設整備分 268,524千円 ②備品購入分 40,576千円 ③一時保護専用施設整備分 21,900千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	児童養護施設の改築(小規模化)及びグループホーム設置数									
	令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定							
	15	15	18	20							
活動指標2	指標名										
	令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定							
成果指標1	指標名										
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標							
成果指標2	指標名										
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標							
項目	判定	理由									
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	地域に密着したよりきめ細かな相談支援を行う児童福祉施設として地域小規模児童養護施設等を整備したことで、児童養護施設の小規模かつ地域分散化、多機能化や家庭と同様の養育環境の推進に寄与した。									
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	国の「新しい社会的養育ビジョン」や「北海道社会的養育推進計画」にも沿った内容の計画的な整備であり、事業計画は適切である。									
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	国庫交付金等を活用したうえで、施設の小規模化に係る工事等に対し補助を実施しており、事業の実施手法は適切である。									
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	施設の小規模化を推進することで、施設入所児童の個別的な状況を十分に考慮した家庭的養育が可能となるため、対象者のニーズに対応できている。									
市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外 市民参加結果への対応 ☐ 回答 ☐ 反映										
今後の改善点	なし										
前回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし										
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円						
今回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし										
評価の理由	計画的な施設整備に対する補助を実施したため。										
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 休止・廃止									
		今後も法改正や小規模化に伴う施設整備に係る補助を実施する。									
	予算	☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ その他									
		引き続き施設整備に係る適正な予算を確保する。		見直し効果額	0 千円						